

1 - (4) 鴨東・嵯峨嵐山地区等における電線類地中化の集中的な推進

(国土交通省)

今年度から、国においては歴史的な都市景観に配慮して歴史的景観地区などの非幹線道路における新たな無電柱化の取組を開始されました。京都市では、日本文化の象徴である歴史都市・京都を「電線のない美しいまち」とするため、この取組をさらに一步進める指定地域での電線類地中化の集中実施と電線類の地中化を義務付ける新たな制度の導入を提案します。

さらに、伝統的な町並みを形成する地域においては、電線類の地中化に伴う舗装復旧に際して周囲の環境と調和したグレードの高い整備が必要ですが、こうした事業は電線共同溝の補助制度の対象でなく、事業展開を難しくしております。

また、電線類の地中化は景観面のほか、安全で快適な通行空間の確保等の観点からも重要であります。整備に当たっては、多額の建設費用とともに、電力事業者等との整備合意や電力地上機器のコンパクト化等の協力が必要であります。

よって、次のとおり提案・要望します。

提案・要望事項

- 1 鴨東・嵯峨嵐山地区等における電線類地中化の集中実施（二年坂・産寧坂地区でのスーパーモデル事業の活用）と電線類の地中化を義務付ける新たな制度の導入
- 2 伝統的な町並みを形成する地域での、石畳等のグレードアップ舗装の補助制度創設
- 3 電線類地中化整備事業に係る国庫補助率の引き上げ
- 4 関西電力・N T T等への技術面を含めた協力要請

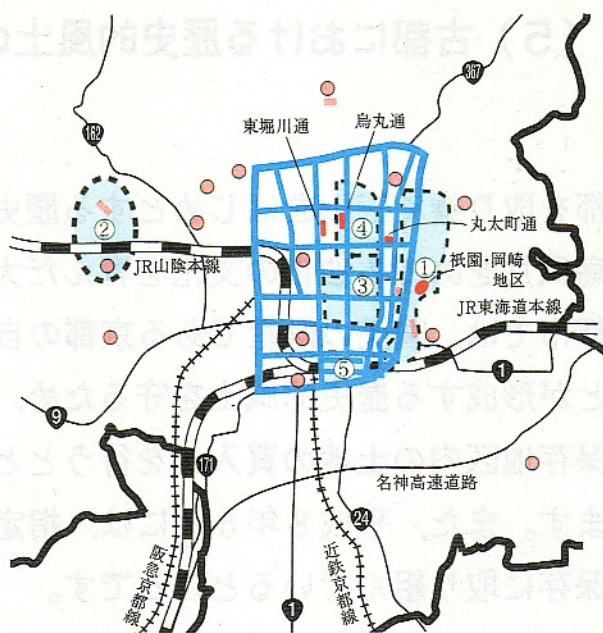
主な要望先：国土交通省(道路局路政課，国道・防災課，地方道・環境課)

本件に関する連絡先：建設局 道路部 道路維持課長 新谷秀明 TEL075 - 222 - 3568

<参考>

京都市の電線類地中化計画（イメージ）

【京都市全域図】



電線類地中化の集中的実施地域

- ①鴨東地区 ②嵯峨嵐山周辺
- ③職住共存地区 ④京都御苑周辺
- ⑤京都駅周辺地区

16年度整備予定路線

主要幹線道路

世界遺産周辺

（高山寺，延暦寺を除く）

伝統的建造物群保存地区

（無電柱化推進計画）

平成16年度～平成20年度整備路線

34.29キロメートル

16年度整備予定路線 祇園・岡崎地区，烏丸通，丸太町通，東堀川通ほか

3.28キロメートル



（整備前）



（整備後）